

起案 令和7年 2月 13日
決裁 _____

教育長	部 長	課 長	副課長	室 員	担当

事業実施結果報告書

令和6年度 ゆうごうセミナー（紫波町立日詰小学校6年）日詰商店街で学ぼう

期 日：令和6年11月20日（月）

時 間：8：30～12：30

会 場：紫波町立紫波第一中学校 他

1 目 的

- ・地域で活躍するいろいろな分野の指導者と交流し、様々な活動について体験的に学ぶことで、地域の良さや地域との繋がりを感じることで、地域愛を育む。
- ・日詰商店街での体験活動を通して商店街で働く人々の仕事にかかる思いや、未来への展望について理解を深める

2 対 象

紫波町立日詰小学校 6学年 59名

3 内 容

○ 8月30日（金）ゆうごうセミナー（6年）の進め方に係る検討会

【学校長・三好純矢県立大学講師・佐々木CSコーディネーター】

- ・今年度の方向性や訪問先、日程等の調整を行った。

○ 10月 8日（火）県立大学生と学校との事前打ち合わせ

【学校長・三好純矢県立大学講師・ゼミ学生6名・日詰商店街店主等】

- ・6年生訪問先について、どのように学びを深めるか具体的な体験内容や、児童へのプレゼン内容について、学校側と県立大学生とで三好アドバイザーの支援により日詰小学校校長室で検討を行った。
- ・検討後訪問先商店に直接訪問し、児童へのプレゼン内容を充実させるために見学及びインタビューを行った。



○ 11月14日（木）児童に対する訪問先に係るプレゼンテーション・訪問先決め・訪問計画づくり

- 【学校長・三好純矢県立大学講師・ゼミ学生6名・学級担任・児童・CSコーディネーター】
- ・県立大学生が児童に対して、事前に訪問した11の訪問先をプレゼンテーションで紹介し、その後、児童の希望を重視し、11の訪問先を決定した。
 - ・訪問先決定後、11のグループに分かれ、担当大学生の支援のもと役割分担や当日の質問事項の作成などを行い、最後全体で共有した



訪問先一覧及び担当大学生・児童人数

No.	訪問先	担当大学生	児童人数
1	藤屋食堂	菊池道聖	6人
2	ヨコサワキャンパス	田村美桜	5人
3	スズトク	下川原月子	4人
4	原スポーツ	堀江希咲	6人
5	ミルクホールマイカ	能美創一	4人
6	平井邸	虻川ななみ	5人
7	タゴマル	宮崎叶歩	6人
8	天狗寿司	武藤嘉寿真	5人
9	畠山写真館	内海彰悟	5人
10	熊谷種苗店	阿部大和	5人
11	岩手日報	佐藤奨真	5人

○ 11月20日（水）ゆうごうセミナー

【学校長・三好純矢県立大学講師・ゼミ学生11名・学級担任・児童・CSコーディネーター】

① 藤屋食堂



※ こだわりの「そば」づくりを体験し、商店街を盛り上げようとする情熱に触れることができた

② ヨコサワキャンパス



※ コーヒーを入れる体験を通し、新たな居場所を目指している店主の熱意にふれることができた

③ スズトク



※ お菓子作り体験を通して、長年商店を営んでいる活動を肌で学ぶことができた

④ 原スポーツ



※ 履物を通して、お客様に満足してもらおうという、熱意に触れることができた

⑤ ミルクホールマイカ



※ 美味しい飲み物を提供することで、新たな居場所をつくりだそうという考えに共感できた

⑥ 平井邸



※ 平井酒造の発送作業を支援しながら、歴史と伝統を守りながら新たな挑戦をする熱意に触れることができた

⑦ タゴマル



※ 本職（左官業）の傍ら、子どもの新たな居場所づくりに取り組んでいる考えに触れることができた

⑧ 天狗寿司



※ 寿司づくりの実体験を通して、食の大切さや、働くことの意義について学ぶことができた

⑨ 畠山写真館



※ プロ用の器材で写真を撮ったり編集作業の実態を知ったりすることで、こだわりある仕事をする
ことの大切さを学ぶことができた

⑩ 熊谷種苗店



※ 花の寄せ植えを体験しながら、長年続けて仕事することの大切さやこだわりについて学ぶことが
できた

⑪ 岩手日報社



※ 新聞を媒体としながら地域とつながることの大切さについて作業を通して学ぶことができた。

○2月12日（水）6学年卒業発表会

【学校長・三好純矢県立大学講師・ゼミ学生11名・学級担任・児童・学校運営協議会委員・訪問先商店主・地域住民・CSコーディネーター 等】



4 成果と課題（次年度に向けて）

（1）成果

・紫波第一中学校1年生を対象としているようこうセミナーを小学校6年生に導入した際、県立大学三好講師をアドバイザーとして依頼したため、県立大学生の活躍（商店選択・リサーチ・交渉・児童へのプレゼン・当日の引率等の学習サポート・卒業発表会参加による支援等）が顕著であり、実り多い小学生での「ようこうセミナー」が実施できた。

・児童が適切な支援により充実した「地域学習」ができたことは、児童の学びにつながるとともに、児童を受け入れる日詰商店街のつながりが強まり、商店街の賑わいにもつながることが期待できる

（2）展望

・次年度以降も継続できるように、今年度中に見通しを持ち、計画的に取り組んでいきたい